

「今、何の病気が流行しているか！」

(川崎市感染症発生動向調査事業—令和5年第16週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和5年第16週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和5年第16週（令和5年4月17日から令和5年4月23日まで）

第16週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）インフルエンザ 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.59人と前週（3.32人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は3.49人と前週（2.36人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.65人と前週（0.70人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

今週のトピックス

“海外で注意すべき感染症と予防対策について” について取り上げました。

今年のゴールデンウィークは、昨年と比べ海外へ渡航される方が大幅に増加することが予想されます。海外においては、国内ではみられない感染症が流行している場合もあり、思わぬ感染症に罹患することもあります。病原体の種類により、食べ物や水を介してうつるもの、動物からうつるもの、蚊やマダニなどが媒介するものなど様々な感染経路があり、予防対策も異なります。

海外旅行中に感染症にかかることなく、安全で快適に旅行するためにも、海外で注意すべき感染症及びその予防対策を事前に確認しましょう。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

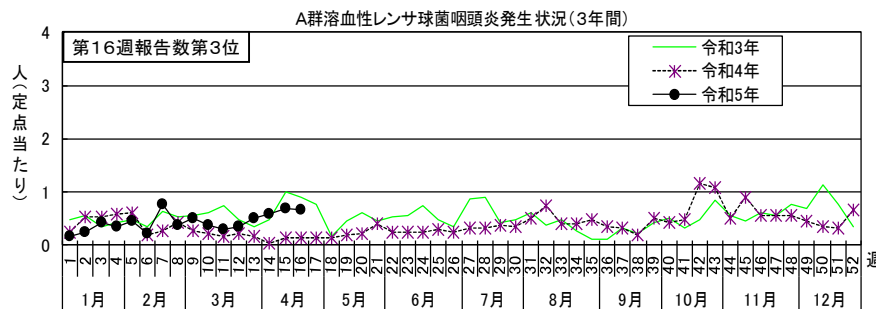
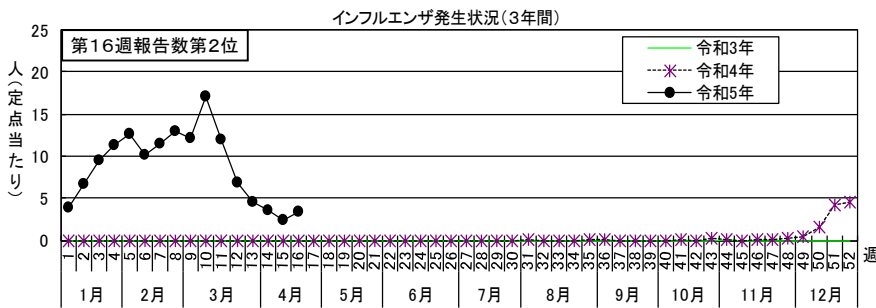
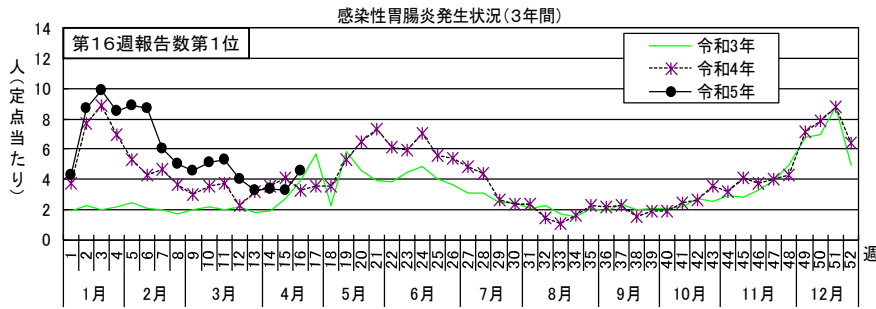
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 小田
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年4月17日（月）～令和5年4月23日（日）〔令和5年第16週〕の感染症発生状況

第16週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.59人と前週（3.32人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は3.49人と前週（2.36人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.65人と前週（0.70人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



海外で注意すべき感染症と予防対策について

今年のゴールデンウィークは、昨年と比べ海外へ渡航される方が大幅に増加することが予想されます。海外においては、国内ではみられない感染症が流行している場合もあり、思わぬ感染症に罹患することもあります。病原体の種類により、食べ物や水を介してうつるもの、動物からうつるもの、蚊やマダニなどが媒介するものなど様々な感染経路があり、予防対策も異なります。

海外旅行中に感染症にかかることなく、安全で快適に旅行するためにも、海外で注意すべき感染症及びその予防対策を事前に確認しましょう。

食べ物や水を介してうつる感染症

細菌性赤痢、腸チフス、腸管出血性大腸菌感染症、コレラ、A型肝炎、E型肝炎等

【予防対策】

- 手洗いなどの手指衛生をこまめに行う。
- 生水、氷、カットフルーツ等の喫食は避ける。
- 食事は十分に火の通ったものを食べる。



動物からうつる感染症

鳥インフルエンザ、狂犬病、中東呼吸器症候群(MERS)等

【予防対策】

- 動物にはむやみに手を出さず、近寄らない。
- 動物に触れた場合、手洗い等の手指衛生を心がける。



蚊やマダニなどが媒介する感染症

デング熱、マラリア、ジカウイルス感染症、チクングニア熱等

【予防対策】

- 長袖や長ズボンを着用する。
- 虫よけ剤（ディート等の成分を含む）を使用する。
- 網戸等の設備が整った宿泊施設を利用する。



その他、海外で注意すべき感染症

麻疹、風しん、ポリオ、新型コロナウイルス感染症等

【予防対策】

- ワクチンを接種する。
- 何らかの症状がある方との濃厚接触を避ける。
- 必要に応じて、マスクを着用する。

